

令和6年能登半島地震 石川県羽咋市へ飲料水を支援しました

古賀市は、令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震の被災地支援のため、石川県羽咋市^{はくい}に飲料水の支援を行いました。

- ・支援内容 : 飲料水 2,160 本
(内訳) 市備蓄品 500 mlペットボトル 55 箱×24 本=1,320 本
公営企業備蓄品 490 mlアルミ缶 35 箱×24 本=840 本
- ・人 員 : 総務部職員 2 名
- ・配 送 先 : 石川県羽咋市^{はくい} 西北台小学校^{せいほくだい} (羽咋市滝町ケ 14 番地 2)
公用トラックにて1月3日(水)17時に古賀市役所を出発
1月4日(木)10時に避難所となっている西北台小学校に配送
- ・現地にて : 支援物資である飲料水は、受け渡し後すぐに避難者の皆さまへ配布されることとなり、迅速な支援につながりました。
- ・支援の経緯 :

今回の能登半島地震の初動で、全国の首長有志でつくる「活力ある地方を創る首長の会」(会長=田中幹夫・富山県南砺市長、会員約270人、古賀市長は事務局長)のメンバーでもある石川県小松市の宮橋勝栄市長が自らの市も被災しながら、能登半島の被災自治体との橋渡し役を担われています。古賀市としても九州からできる限りの支援をしたいと考え、小松市にその意向を伝えたところ、飲料水など物資が不足している羽咋市への支援を依頼されました。

発災直後のさまざまな態勢が整わない中で、自治体が平時からの連携を生かし、プッシュ型で支援することが重要であり、こうした支え合いが、ひいては市民生活を守ることにつながると考えています。

【問い合わせ先】

古賀市役所 総務課危機管理係 担当：星野、江野
電話：092-942-1112

1月3日出発式



1月4日羽咋市 西北台小学校にて

